

独自のアイデアで  
 住みよい街づくりを目指す



加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262

東日本大震災から6年、阪神・淡路大震災から22年。この2つの震災でクローズアップされるようになった町内会・自治会の存在。その後の調査で町内会・自治会がしっかりと機能していることが救急や復旧に大きく影響していたという報告もある。

町田市には現在、3009の町内会・自治会があり加入世帯率は約54%。そんな中、独自の事業で地域を盛り上げ、加入世帯の増加を試みているのが南つくし野自治会だ。そこには「自分たちの町は自分たちで住みやすく」という精神がある。街の美しさにも定評がある南つくし野自治会の取り組みとは――。



**住** みやすい街づくりを第一に、自治の精神が根付いている南つくし野自治会。小学校の新年生へのプレゼント、敬老の日のお祝い、体力測定など、子どもからお年寄りまで全ての世代への配慮

も欠かさない。高齢化や参加者の偏り、厳しい予算など悩みは尽きませんが、常に前向きに街づくりを楽しむ役員さんの生き生きとした表情には希望が溢れていた。

**活** 動の大きな柱は防犯、防災、清掃と美化の三つ。青色回転灯防犯パトロール車、通称「青バト」も自治会で所有して9年目だが、市内でも最初に導入しただけでなく、警察の認可が下りる前から当時の会長の個人車両でパトロールを実施していたという。色んな防犯パトロールや登校時の学童見守り、振込詐欺対策をはじめとする防犯講話の実施など積極的な防犯対策が評価され、2015年度は警視総監賞も受賞している。

「防災も自分たちで」という意識がある。15年来実施している災害レスキュー隊訓練では、火災対策としてスタンドパイプを購入し、その操作訓練や、自治会所有のAED操作練習も行う。「AEDとスタンドパイプは完璧に使えるようになりました。男性ならかなりの方が使えると思います。そう語るのには役員になって5年目の越村副会長だ。

**独** 自の事業としては「土曜朝市」がある。毎月第2第4土曜日の8時～9時に開催され、近隣農家や地元の店舗、まだ名産品のれん会の店舗が出店し、地域の住民で賑わいをみせる。10年前から始まったものだが、スーパーがない駅の不便さを解消しようと自治会で考案したものだ。

また、毎年10月に行われる文化事業「青空コンサート」も自治会単独で開催するイベントとしては市内最大規模のもの。約200人が合奏や吹奏楽を披露して盛り上がるが、出演者も小川高校やつくし野中学校、南つくし野小学校、南ヶ丘幼稚園などエリア内からの参加だけでなく、玉川大学や二胡演奏などセミプロのアーティストが参加するなど、内容も多岐に亘っている。その他、クリスマスイルミネーションや納涼大会なども南つくし野に欠かせない恒例行事として確実に定着している。



副会長の越村富雄さん 会長の最上久美子さん 副会長の下村春雄さん